



# 只見の冬の暮らし方

## 只見町役場 地域創生課

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2591-30 町下庁舎  
TEL:0241-82-5220 FAX:0241-82-2117 E-Mail:kikaku@town.tadami.lg.jp

# 冬の暮らし方 目次

## はじめに…P2

## 【気象】 …P2～P3

## 【衣類】 …P4

防寒コート  
手袋  
長靴  
靴下  
ヒートテックアンダーウェア  
セール

## 【生活】 …P5～P8

カメムシ  
グリーストラップ清掃  
石油ストーブの灯油費  
灯油ポリタンク  
雑貨、食材の買い置き  
凍結防止 外部  
凍結防止 内部  
蛇口や水道管の破裂  
町内指定給水装置工事事業者一覧表  
湯たんぽ  
物干しハンガー

## 【車-車輛】 …P9～P11

確実に車に入れておきたい用品  
車に入れておくと安心な用品  
心がけると安心な習慣  
スタッドレスタイヤ  
タイヤチェーン  
冬用ワイパー  
バッテリー電圧の確認  
凍結防止用ウインドウオシヤ液  
ディーゼル車  
エンジンスターター

## 【車-運転】 …P11～P12

危険な箇所  
危険な路面  
危険な天候

走行時の注意  
サイドブレーキ凍結  
長い間駐車するときはワイパーを立てる

## 【除雪】 …P13～P18

雪の降る前に  
除雪のイロハ  
除雪車  
融雪溝  
基本ツール  
除雪機  
屋根に上がって除雪するのは危険です  
屋根から雪を降ろすときの注意  
時間とともに雪質は変化する  
屋根に雪が乗っているときに、その下に入る  
のは危険です  
屋根が低くても安全ではありません

## 【雪が解けたら】 …P19

お世話になった方々へ一言  
車を洗いましょう  
屋根塗装の点検

## 【心構え】 …P20～P21

注意力  
厳しい環境ゆえにお互いに助け合って生きる  
体を動かす  
家族以外の人とも交流を持つ  
冬を楽しめるもの  
前向きなあきらめ

## おわりに…P23

## はじめに

移住者した方とお話しすると必ず聞く言葉があります。『来てみなければ、分からない事がある』というフレーズ。何が分からなかったのかは人にもよるのかもしれませんが、共通したのは「冬の暮らし方」ということ。雪に関するハプニング&ソリューションの連続を楽しそうに話してくれました。

とは言え、これから移住を考えている方や、都市部から移り住み間もない方にとっては、何が起きるのか、何をすれば良いのか想像しにくいかと思います。そこで地元の方々、経験豊かな移住者の方々から聞き取りした「冬の暮らし方」についてご紹介しましょう。

## 【気象】

これは2018年 只見町の気象データ（月別）をまとめたものです。

2018年 只見町気象データ（月別）		気象庁データから抜粋						
月	降水量(mm)		気温(°C)		日照	雪(cm)		
	合計	日最大	最高	最低	時間 h	降雪の 合計cm	日降雪の 最大cm	最深 積雪cm
1月	328.5	40	8.4	-14.2	43.5	426	69	271
2月	197.5	45	8	-9.8	86.8	360	81	291
3月	57	15	17.4	-7.1	156.9	63	14	228
4月	94	21	26.6	-1.6	166.3	3	1	109
5月	134	26.5	30.2	2.9	157.7	0	0	0
6月	55	18.5	33.1	8.9	153.9	0	0	0
7月	34.5	15	36.2	17.2	213.9	0	0	0
8月	209	44	36.2	11.6	156.4	0	0	0
9月	181	34.5	30.7	11.1	85.7	0	0	0
10月	159.5	39.5	30.8	4.6	82.8	0	0	0
11月	120	26	20.9	0.1	74.5	3	2	2
12月	322.5	36.5	18.8	-8.5	35.8	252	44	85

### 《用語説明》

**降雪**：積もった雪は融け、雪の重みで圧縮されるので「深さ」が減ります。雨量のように単純に時間ごとの累積ができないので1時間ごとに積雪深を観測して差分を比較し、増加した分を累積して降雪量としています。

**日降雪**：一日単位の降雪量を示しています。

**積雪**：ある時点での雪の深さ（実際の見た目の雪の高さ）のことです。

**日照**：直射日光が地表に当たっている状態を言います。直射日光の定義は、1平方メートルあたり120ワット以上の直射光が当たっていることです。簡単に言うなら影が観察できる程度の光があることを言います。

1月（ブルーの行）を見て下さい。只見町の冬は《いつも氷点下で、毎日雪が降る》といった厳しいイメージが広まっていますが、それが只見町の冬の全てではありません。厳冬期でも一日中 雨の降る日もあれば、晴れて陽が差す日もあります。



長浜区 民家 降雪時



長浜区 民家 晴天時

1月は、日ごとに積もった雪の合計（降雪量）は4m26cmで、1日で69cmも雪の積もった日（日降雪）もありました。最低気温は-14.2度で、周りを見れば2m71cmの雪が残る、冬の最も厳しい時です。でも、そんな中で雨の降る日もあれば、陽が差し、気温の上った日もありました。

一言で「冬」と言っても、日によって、時間によって大きく変化しています。それだけに変化へ応じた「冬の暮らし方」があります。

例えば、雨が降った翌朝 気温が下がれば路面はアイスバーン



になるので、歩行や車の運転にはより気を付けるとか…

陽が差し気温が上がれば、屋根に乗っている雪が一気に落ちるので、軒下近くを通るときや、除雪作業では注意する…といった「冬の暮らし方」が求められます。



例年 里に雪が積もりだすのが12月中旬、冬の峠は2月中旬を境に降雪も積雪も少しずつ減ってゆく感じです。3月に入ると気温も上がり、雪も解け出し、いよいよ春を迎えます。では、この約3か月間（90日）の「冬の暮らし方」を見ていきましょう。優先順位、重要度を示すアイコンを各項目の後ろに付けました。アイコンのない項目は  「冬の暮らし方の知恵」として参考にして下さい。



	これをしてはいけません。とても危険です
	日常生活のトラブルを回避するために大切なことです
	地元の方が注意しているポイントです
	このことにはルールや地域の約束事があります

## 【衣類】



### 《除雪用ジャケット・ジャンパー》

毎年 購入するものではないので時間をかけて、温かく、防水（透湿性）性、耐久性の高いものを選んでください。動きやすい事も選ぶ時のポイントです。



### 《手袋》

ウール製でも、除雪作業などで1時間位使うと濡れるので、濡れない手袋を1双買っておくと安心です。



### 《冬用の長靴》

ホームセンターに行くと多くの種類の長靴が販売されています。靴底の溝が深いものやスパイクつきの長靴は歩行、作業時に安定します。厚手の靴下や、オバースボンを履くので、少し大き目の長靴が良いです。



ちなみに雪道の歩き方のコツです。

- 1.長靴、スノーブーツ等 滑りにくい靴を履く。
- 2.歩幅を狭く、穏やかに歩く。
- 3.靴底全体で路面を捉える。
- 4.両手を空けておく(ポケットに手を入れない)。
- 5.路面だけでなく屋根からの落雪にも注意して。



### 《靴下》

厚手の靴下。冬の間 洗濯物が乾きにくいので靴下は3足程度あると交代で履き替えることができます。



### 《ヒートテック アンダーウエア》

服の下に1枚着るだけで保温効果がアップします。除雪など長い時間、外にいるときに体を冷やさないために役立ちます。



### 《セール》

冬用の衣類やシューズ類は、秋以降「ホームセンター」等で安価で質の良いものが店頭並び始めます。また春が近づくとセールがあるので、次の冬への準備にお勧めです。

## 【生活】



### 《カメムシ》

気温が下がると必ず話題になるカメムシ。越冬するために家に入り独特の臭いを出しながら家中を飛びまわり、田舎の嫌いな虫ベスト3位に必ず入る虫です。定番の駆除方法は ①静かに捕まえて外に投げる ②ガムテープに包んで捨てる ③空ペットボトルで捕まえて、いっぱい捕獲したら捨てる(多分「燃えるゴミ」で)。掃除機で吸い取るのはお勧めしません。サシガメ(スレンダーな肉食系カメムシ)は人を刺すので要注意。さされると激痛があり、その後腫れ、長く痒みが残ります。



### 《グリーストラップ清掃》 **重要!**

合併処理浄化槽を設置する場合、また生活雑排水を農業集落排水施設へ流す場合は、公共排水路へ放流する手前に阻集器(グリーストラップ)が設置されます。グリーストラップは汚泥や油脂等を抜き取るため少なくとも年1回清掃が必要です。冬になってグリーストラップの詰まりに気が付いても、雪の下では清掃が難しくなるので、降雪前に済ませておくことをお勧めします。

また法律で合併処理浄化槽の清掃、点検が義務付けられていますので、冬前に町の許可業者(2社)へ依頼し済ませておくことが良いでしょう。許可業者はグリーストラップの清掃(有料)も行っています。グリーストラップの清掃についての問い合わせ先は町民生活課町民係(0241-82-5110)です。



### 《石油ストーブの灯油費》

一冬でどれくらいの暖房費がかかるのか気になるところです。もちろん部屋の大きさ、暖房方法、使用時間等で変化するのは言うまでもないことですが、ここでは石油ストーブメーカーの公表データを使い計算してみましょう。

条件①：石油ストーブ(木造8帖用・0.2540/1時間・タンク40)

条件②：木造住宅8帖1室15時間(1日7:00~22:00燃焼)

条件③：灯油180 1,487円(2021年1月15日時点/灯油10 82.6円)

$15 \text{ 時間} \times 0.2540 / 1 \text{ 時間} \times 82.6 \text{ 円} \times 30 \text{ 日} = 9,441.18 \text{ 円}$

1か月間の灯油代は約9,442円となります。

単純計算で6か月間(10月中旬~4月中旬)では56,652円となります。

コスト計算をするために仮の条件を設定しましたが、実際には一住居で暖房する箇所は複数になる事もあり変化があります。参考値として見て下さい。



一般的に「石油ストーブ」と呼ばれていますが、石油ストーブで燃やす燃料は灯油です。石油ではありません。



### 《灯油ポリタンク》

暖房のために石油ストーブを使うのであれば 180ポリタンクが必要です。例えば先ほどの石油ストーブ（タンク 40、最大火力時の燃焼率 0.2540/1 時間）であれば、ほぼ 15 時間ごとにタンクへ給油する計算です。1 日 40 の石油を使うなら 180ポリタンクは 4.5 日で空になります。

町のガソリンスタンドは石油の配達サービスをしていますので、ポリタンク 3~4 本あれば半月に 1 回程度の注文になると思います。ちなみに灯油ポリタンクは関西圏が青色、関東以北は赤色が主流だそうです。

ところで灯油ポリタンクにガソリンを入れてはいけません！  
なぜなら..



- (1) 灯油ポリタンクが溶けて、ガソリンが漏れます。
- (2) 揮発したガソリンが、ポリタンク内の圧力を上げて、破裂します。
- (3) 石油ストーブに給油すると火災（実際にありました）になります。



ガソリンは、消防法に適合した携行缶でないと販売して貰えません。

### 《湯たんぽ》



少しずつ体を温めてくれる湯たんぽは冬の夜の必需品です。ただし専用カバーや厚手の布で巻いて直接肌に触れないように温まるのがポイント。乾燥防止のためにストーブの上に置いたヤカンのお湯を少し温めなおして、湯たんぽに入れるのがとてもエコです。

《雑貨類、食材の買い置き》洗剤、ティッシュ、トイレットペーパー、インスタント食材、缶詰等を多めにそろえておけば、悪天候で買い物に行けないときも安心です。減った分だけ買い足しておくことで災害時の備蓄品にもなります。





### 《凍結防止 外部》 **重要!**

外気が-4度以下になると水道管の凍結や蛇口の破裂が多く発生します。天気予報で低温注意報が発表されたときは注意して下さい。通常 屋外の給湯器の配管や散水栓等は保温されていますが、保温テープが古くなり、破れていると凍結しやすくなります。応急処置の方法としては、古い毛布、布切れなどを巻き付け、その上からビニールテープや紐を巻いて保温して下さい。



凍結防止効果を高めるために保温材とともに凍結防止ヒーターが取付けられている場合、電源プラグ、スイッチを確認して下さい。

水道メーターが雪に埋もれる前に、ボックス内に発泡スチロールを砕いた破片や、エアークャップ（プチプチ）、乾いた布を隙間に詰めて保温しておくで安心です。

### 《凍結防止 内部》 **重要!**

水抜き栓があるなら寝る前に水抜きしてください。水抜き栓がない場合は、蛇口や水道管が凍らないように少量の水を出しておく方法もあります。ただ外にある蛇口は、滝も凍るくらいですから「少量の水を出す」では効果はありません。



浴室カラン等の凍結防止に、凍結防止ヒーター（発熱ベルトをカランに巻く）もあります。サーモスタット機能があり約3度以下で自動通電し、約10度を超えると通電停止するタイプが経済的です。

凍結防止ヒーターは、メーカーが安全使用年数を定めています。経年劣化で異常発熱を起こし火災となる可能性もありますので、取り扱い説明書にある安全使用年数を守って使用して下さい。

### 《蛇口や水道管の破裂》 **重要!**

蛇口や水道管が破損したら、水道メーターボックス内の止水栓を閉めて水を止めてください。水道メーターボックスが雪の下で見つからないときには、破裂したところをタオルやテープなどでしっかり巻き、水が吹き出るのを止める応急措置を行ってから町の給水指定業者に連絡して下さい。

次項に町内指定給水装置工事事業者一覧があります。

## ご存知ですか！



宅地内の給水管及びメーター器、止水栓等の給水装置は、使用者(所有者)自らが責任を持って維持管理をし、これら維持管理不足による破損等の場合には使用者(所有者)が修繕すること等、只見町水道条例で決められています。(只見町水道条例第6条、同19条、同22条、同施工規則第1条)

この修理(軽微なものを除く)は、只見町から指定を受け、専門の資格試験に合格した技術者と機械器具を備えた事業者でなければ行う事ができません。(只見町水道条例第7条、水道法施工規則第13条(軽微な修理))

町内の指定給水装置工事事業者は下記のとおりです。

漏水修理等のお申し込みは、直接各事業者までご連絡下さい。

【町内指定給水装置工事事業者一覧表】 ※ どの地区の事業者に依頼しても構いません。

地区	業者名	電話	地区	業者名	電話
只見地区	丸 平	82-2145	朝日地区	栗木金物	84-2035
	共 栄	82-3372		設備屋ライフ・ワン	84-2516
	メグロデンキ	82-2233		ヤマイシ	84-2573
		朝日建設		84-2311	
明和地区	堀水道	86-2760			
	梁取工務店	86-2861			
	吉野建設	86-2116			
	平山建設	86-2114			
	鶴巻設備工業	86-2324			

漏水等でお困りの際は  
はお電話ください。私  
たち指定業者が責任  
を持って対応します。



◎ 水道のメーター器や給水管、止水栓の点検は日頃からこまめに実施しましょう。

只見町は豪雪地域です。特に冬期間の漏水対策は万全をお願いします。

(漏水は処置が遅れると料金の加算に直結します。)

只見町町民生活課町民係 TEL:0241-82-5110

### 《物干しハンガー》



雪が降り、マイナス気温では洗濯物は外に干すことが出来ません。洗濯物は自然乾燥させたいところですが、暖房の効いた室内に干す機会が多くなるので、あるとズバリ便利です。

部屋干しをする場合は、ストーブの上やすぐ前を避け、乾燥中は目を離さないようにして下さい。

**注意**



ストーブを点けた部屋では空気が対流するので、洗濯物がストーブから離れていても乾きます。

## 【車-車輛】



ネット上には冬のトラブルに備えた車用品が沢山ありますが、安心だからあれもこれもと買い揃えても、すべてが役立つとは限りません。そこで、先ず日常生活で運転をするとしたら何があれば安心か、心がけておくことは何かを、冬の運転に慣れた地元の方に聞きました。

### 《確実に車に入れておきたい用品》



1. スノーブラシ（ヘラが付いているものがお勧めです）
2. スノースコップ

\*大きさを比較するために携帯電話と一緒に撮影しています。

### 《車に入れておくと安心な用品》

1. ブースターケーブル
2. ライト（ヘッドランプは両手が使えるのでお勧め）
3. 牽引ロープ
4. 解氷スプレー
5. 毛布（緊急時の保温として、タイヤすべり止め 車脱出用下敷きとして）
6. スノーヘルパー（タイヤすべり止め 車脱出用マット）
7. 氷雪用ゴムハンマー（ホイールハウス内側に付着した氷塊を落とす）



### 《心がけると安心な習慣》

1. 車に乗るときも、暖かい服装、長靴（スノーブーツ）、手袋を忘れずに。
2. ガソリンが1/2になったら給油する。
3. 携帯電話 電池容量に注意する（車内に携帯電話充電器を置く事でも）。

ここからは、車の整備に関連する内容です。



### 《スタッドレスタイヤ》

**重要!**



初雪が降る前にスタッドレスタイヤへ交換しましょう。車好きな方なら自分でもタイヤ交換はできますが、自動車整備会社やガソリンスタンドへお願いするなら、交換時期の目安は初雪が降る1か月前あたり（只見町では11月上～中旬）がお勧めです。

初雪が近づくと自動車整備会社も、ガソリンスタンドもタイヤ交換で込み合いますし、スタッドレスタイヤを注文して、たとえ在庫がなかったとしても余裕で間に合うでしょう。



### 《タイヤチェーン》

タイヤチェーンは前輪駆動車（FF）なら前輪に、後輪駆動車（FR）なら後輪へ装着します。4輪駆動車でもメーカーが指定する主駆動輪（2輪）に装着します。



### 《冬用ワイパー》

**注意**

冬用ワイパーは、ブレード（弓なりの形をした金属フレーム）への雪の入り込みを防ぐために、金具部分をゴムで覆い、凍結しにくくしています。低温でも硬くなりにくいゴム素材を使っているため、ワイパーを駆動させるバッテリー負荷も少ないとされています。

冬用ワイパー価格は2,000円～5,000円程度で、寿命は1シーズン～2シーズンが目安です。カーショップやホームセンターで購入し、自分で交換できますが自動車整備会社、ガソリンスタンドでも交換して貰えます。



### 《バッテリー電圧の確認》

**注意**

気温が下るとバッテリー内部の化学反応が弱まり電圧が低下します。かたや冬期は「エアコンファン」や「リアウインドーの曇り止めの熱線」等を使用する機会が多く、能力の低下したバッテリーでは充電が間に合わずバッテリーが上がってしまいます。初雪の前に、自動車整備会社、ガソリンスタンドでバッテリーの電圧点検してもらうことをお勧めします。

### 《凍結防止ウインド ウォッシャー液》

**注意**

氷点下でも凍結しないタイプのウォッシャー液は20 500～1,000円程度のものが販売されているので、行きつけのガソリンスタンドで尋ねれば地域でポピュラーな商品を教えてくれると思います。

冬はあまりウォッシャー液を使わないと思いがちですが、走行中にフロントガラスに付着した雪や、道路から跳ねた泥水等で視界が遮られるので地味な存在ですが必需品です。



### 《ディーゼル車》

**注意**

軽油は、地域・季節に適合して5種類の製品が供給されています。都市部のガソリンスタンドで販売されている軽油では、冬期間エンジンがかかりにくくなりますので寒冷地仕様の軽油が必要です。

## 《エンジンスターター》

離れた場所からエンジンをスタートさせることができるエンジンスターターは、冬暖かく（夏なら涼しく）、寒い冬の朝にフロントガラスの霜取りにも効果を発揮します。ただマニュアル車、一部オートマチック車には装着できないので、装着を考えるならディーラー、メーカー指定自動車修理会社へ確認が必要です。



### ・換気の確認 **重要!**

シャッターを閉めたガレージ等で、エンジンをスタートさせる場合、一酸化炭素中毒を引き起こす可能性がありますので、必ず換気の確認をして下さい。また外に駐車している車のエンジンスターターを使うときは、車の排気口を雪が塞いでいないことを確認しましょう。

## 【車-運転】



ここからは冬の運転に慣れたバスや宅配便ドライバー、除雪車オペレーター、自動車修理会社の方々等から聞き取りをした「ヒヤリとした」、「ハッとした」経験と経験則をまとめました。



## 《危険な個所》

**注意**

- ・トンネルやシェッドの出入り口（車輦が雪を落とし、風の通り道で路面が凍る）。
- ・橋の上、陸橋の上（道の下が空間になっていて地熱が逃げて路面凍結が起きやすい）。
- ・日陰の道路（気温が下がるために路面が再凍結する）。
- ・峠道（標高が高く、風が強いため凍結する）。
- ・カーブ（カーブに入ってからブレーキは駄目）。



## 《危険な路面》

**注意**



- ・除雪が終わった直後の道路はツルツルだ。
- ・気温0度前後の凍結路面は、特に滑る。
- ・目の前にアイスバーンを発見したら、アクセルから足を離して（ブレーキを踏まない）、突っ切るのが安全。
- ・ブラックアイスバーン（道路上で融けた水が再び凍ったもの）は、見た目は分かりにくく、夜間は特に分かりにくい。気温が低くなると路面が黒く、凍っていないように見えても表面の水分が凍結した状態になりスリップ事故が起きやすい。
- ・雪の轍が危ない、轍の上でスリップしやすい。



## 《危険な天候》



・ホワイトアウトは、林が途切れたところやトンネルの出入り口、坂の頂上で起きやすい。

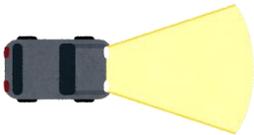


- ・突然視界が閉ざされた時は、アクセルから足を離して、そのまま進行。
- ・吹雪の時は前車のテールランプが見え隠れするくらいで、追従する。
- ・やむなく停止する時は、左に寄ってハザードランプを点灯。
- ・吹雪の時は、道路と雪壁との際にある雪粒にライトが当たった反射光と影を見ながら、自分の車の位置を確認する。

## 《走行時の注意》



・雪の降っているときは昼間でもライトを点灯する。



- ・道路の端を走らない。雪に埋もれた側溝やガードレールがある。
- ・カーブや下り坂の手前では必ず減速する。
- ・後続車が追いついてきたら、安全な場所で路肩により追い越させる。
- ・対向車が接近した時は、アクセルを緩めて速度を落とす。

・前車のブレーキランプを見たら、すかさずスピードを落とす。何かがある。

次は、雪国ならではのアドバイス



です。



### 《サイドブレーキ凍結》

気温が下がるとサイドブレーキを引っ張るワイヤーが凍りついて、ブレーキ解除ができなくなることがあります。オートマチック車はPレンジに、マニュアル車の場合は1速ギアかバックの状態です。この場合は車止めの設置をして下さい。

### 《長い間駐車する時はワイパーを立てる》

ワイパーを倒したままにしておくと、車の熱で溶けた雪が再凍結してワイパーがフロントガラスに凍りついてしまいます。ワイパーフレームを包むゴムが破れてしてしまうので、長い間 駐車する時はワイパーを立てましょう。





## 【除雪】

ここからは雪国で避けては通れない除雪についてお話をしましょう。都市部では「除雪」とか「雪かき」と言われていますが、只見町では「雪掘り」と言います。雪の中から必要なものや、スペースを掘り出すというイメージでしょうか。家の周りあらゆるところに雪が積もっていて「除雪」しなければ、家の出入りもできないという事です。今更ですが只見町は国から特別豪雪地帯に指定されています。

### 《雪の降る前に》

#### ・雪囲い

積もった雪や、屋根から落ちてきた雪がたまって窓ガラスを押し割ったり、屋根から落ちた雪が跳ねて、窓ガラスを割ることがあります。それを防ぐために板で窓を覆います。冬の間 陽の光を室内に取り込むために板と板の間に隙間を設けたり、透明な波板（ポリ塩化ビニール）を使うなど工夫がされています。



板の雪囲い



透明な波板の雪囲い

#### ・誰かに除雪をお願いするつもりなら…



誰かに除雪をお願いするつもりなら、雪の降る前に、除雪をお願いする方へ自宅周りの現場調査をしてもらって下さい。雪が積もってから除雪をお願いしても、障害になるものがどこにあるのか分からないと、除雪をする方が除雪機を入れることができないからです。

### 《除雪のいろは》



敷地内に積もった雪は、自分で除雪しなければいけません。

雪の降る前に除雪しなければいけない範囲を確認しておきましょう。



- ・除雪した雪を捨てられるスペースを確認して下さい。敷地内に除雪した雪を捨てられない、またはスペースが足りないときは近隣の方や区長に相談して下さい。基本として除雪した雪を道路に捨てることはできません。また人の土地に勝手に雪を捨てるのはマナー違反です。

- ・屋根から自然落下した雪や、雪降ろした雪は自分で処理するのが基本です。
- ・除雪車が除雪した後の縁に雪が残る場合がありますが、それぞれで片付けます。
- ・除雪にかかる時間は周りの環境、体力、人手、道具によって異なりますが、どれくらい時間をかければ、どれくらい除雪できるか把握しておく、除雪計画を立てやすくなります。
- ・雪は降った直後は軽く、柔らかいです。降ってから時間がたつとともに重く、硬くなります。こまめに除雪することをお勧めします。

## 《除雪車》



- ・町が行う除雪車の出動目安は 10cm 程度の積雪です。
  - ・除雪は朝 7 時頃までに、日中も雪が降り続けるときは 12 時～16 時頃を目安に行われます。町道除雪についての問い合わせ先は農林建設課建設係（0241-82-5270）です。
  - ・除雪した雪を道路に捨てることはできません。
  - ・除雪作業中は前進、後進を繰り返すので、除雪車の通過直後に近づくのは危険です。
  - ・除雪作業の邪魔になるので路上駐車をしてはいけません。
  - ・除雪車の作業中は追い越し禁止です。
- 除雪車オペレーターから合図が出された場合や、アイコンタクトで確認できた時は徐行、注意しながら通行して下さい。また交通誘導員がいるときはその指示に従って下さい。

## 《融雪溝》



- ・融雪溝の使い方ルールが決まっているところもあるので使い方について近隣の人や区長に確認して下さい。



- ・融雪溝を使わない時は、必ず蓋を閉じて下さい。除雪車が蓋をひっかけて壊してしまいます。人も誤って落ちてしまうので危険です。
- ・蓋に取手が付いているときは、取手も収納して下さい。つまずきます。



## 《基本ツール》

### ・スノースコップ



除雪の基本ツールです。プラスチック製スコップとアルミ製スコップがあります。プラスチック製スコップは軽く使いやすいですが、アルミ製と比較すると耐久性は落ちます。先端にスチール製のブレードつけて強度を上げたタイプもあります。アルミ製スコップは雪の塊を切り出しやすいのですが、価格がプラスチック製と比べるとやや割高です。雪の塊にサイコロ状になる切れ目を入れると、力むことなく雪を掘り出すことができます。



### ・スノーダンプ

プラスチック製のものは軽く、女性でも簡単に使えることからママさんダンプと呼ばれ、よく見かけますが、豪雪地帯では耐久性を考えスチールかステンレスの頑丈なスノーダンプがお勧めです。



スチール製平型のスノーダンプは使い勝手がよく便利です。スノーダンプの柄が長いと使いにくく、短いとかがんだ姿勢が続くので辛くなります。スノーダンプの持ち手から本体まで110～140cm程度の長さがあるので、使い手の身長に合ったものを選んでください。シーズンが終わったら乾燥させて撥水スプレーをかけるか、スキー用ワックスを塗っておくと翌シーズンの雪切れがスムーズになります。



### ・スノープッシャー

軽い雪を押しつけて片付けるラッセルタイプの雪かきスコップです。ラッセルする路面がフラットなら、一気に広い範囲の雪を押し出すことができます。

### ・雪庇切り

聞きなれない言葉ですが雪庇（せっぴ）とは、雪が屋根に積もり、少しずつ屋根から外側に張り出して、今にも落ちそうな雪の庇のことです。雪庇の成長段階では、柔らかい雪の塊ですが、日がたつとともに重く、硬くなります。ある時に前触れなく落ちてくるのでフライパン返し状の「雪庇切り」で落とします。屋根の雪を降ろすときは、作業中に誤って乗ってしまわないように前もって雪庇を落とします。屋根だけでなく雪山の稜線にもできます。



車庫の屋根に出来た雪庇



フライパン状とカギ状の雪庇切り



### 《除雪機》

「除雪機」があれば素早く、楽に除雪できます。でもとても高価です。近隣の方に冬の状況を確認し、除雪機の雪の放出先なども検討してみてください。購入する場合は、地元で評判の良い除雪機の販売代理店に相談してみることをお勧めします。

例年 夏の終わりころから除雪機の買い替えが始まるので、中古除雪機が出回るようになります。販売代理店に中古機が出たときに声をかけてくれるようお願いしておくのもお勧めです。よくホームセンターで安価な除雪機を販売していますが、購入後の修理やメンテナンスを考ええると国内メーカー（部品がすぐ揃う）の除雪機を、地元の販売代理店（すぐにケアしてくれる）から購入することが良いでしょう。

### 《屋根に上がって除雪するのは危険です》



屋根が低かろうと高かろうと、屋根に上がって雪を降ろすのはとても危険なことです。雪の扱いに慣れた地元の方でも、屋根の雪降ろし作業中に事故にあった話を聞きます。いまこの「冬の暮らし方」を読んでおられるあなたは、おそらく雪に対する経験が少ない方だと思います。屋根の雪降ろしには、雪にも作業にも慣れた方をお願いすることを強くお勧めします。

以下に、参考として屋根から雪を降ろすときに地元の方が実践している事（たぶん一部、全部ではない）をまとめました。一つ一つが落下防止のための戒めであり、雪と一緒に落ちたとき怪我を軽くするため、埋もれても発見しやすいようにするための工夫です。

### ・屋根から雪を降ろすときの注意



1. 屋根の雪下ろしをする建物の周りに雪を残しておく。
2. 二人以上で作業する。
3. 必ずヘルメット、命綱（ハーネス）を装着する。
4. 携帯電話を身に付ける（雪に埋もれたときに呼び出し音で探す）。  
笛を身に付ける、というのもありました。
5. 雪庇の大きさを確認する（踏み抜かないよう軒先からどれくらい出ているかを確認）。
6. 梯子は必ず固定する。
7. 梯子の先端は屋根よりも高くする。
8. 梯子の乗り降りにはゆっくりと、梯子は誰かに押さえてもらえると揺れが少ない。
9. 雪を下ろす先に人や物がないかを確認する。



10. 雪降ろしは屋根棟（一番上）から落とし始める。
11. 声を掛け合いながら作業する。
12. 暖かい日は雪が緩み、下ろしている最中に一気に落雪することがある。
13. 疲れたら休憩する。



### 《時間とともに雪質は変化する》



空から降る雪は柔らかく、軽いといったイメージでしょうか。でも一旦地上に降りると、雪は時間の経過とともに姿かたちを変化させます。大まかですが新雪であれば  $50\text{kg}/\text{m}^3$ 、雪が積もり締った状態なら  $100\text{kg}/\text{m}^3$ 程度、雨が降った後の粗目で湿った雪だと  $500\text{kg}/\text{m}^3$ とされています。積雪量が増加すると下層の雪は圧縮されて密度が大きくなります。また積雪後に雨が降れば密度はより高まります。

基本数値は2017年12月18日 ウェザーニュースから抜粋

雪国育ちなら誰でも《時間とともに雪質は変化する》ことを知っています。また、それが自分たちの生活にどう影響するかも理解しています。一方 雪に慣れていない移住者は「冬の暮らし方」の冒頭で触れたように《雪に関するハプニング&ソリューションの連続》を経験することになります。

それが笑い話で終わるレベルなら楽しい思い出でしょう。でも軒下で、あなたが除雪をしているときに10tの雪が一気に落下するようなことだったら..



#### ・屋根に雪が乗っているときに、その下に入るのは危険です

**注意**

1. 屋根に雪が乗っているときは、原則 その下には入らない。
2. やむを得ず通るときは、頭上に注意して素早く通過しましょう。
3. 晴れて、温度が上がった日は危険性が高まります。



地表と軒先がつながると、屋根が壊れることがあります。

こうなる前に、こまめに除雪することが大切です。

屋根が低くても安全ではありません。

屋根に雪が乗っているときに真下での除雪は絶対駄目。



屋根から雪が落ちてから除雪しましょう。



## 【雪が解けたら】

### 《お世話になった方々へ一言》

厳しい環境ゆえに近所で声を掛け合いながら助け合っています。除雪した雪を置かせてもらった地主さんや、近隣の方々へ挨拶を心がけて下さい。

### 《車を洗いましょう》



冬期間 トンネルやシェッドの出入り口にはスリップ防止のために、融雪剤 塩化カルシウムが散布されています。ボディに微量の塩化カルシウムが付着していても錆びが出やすくなります。雪が融け、暖かくなったら車を洗い、併せて車内の冬の用品を出して春を迎えましょう。

### 《屋根塗装の確認》

冬が終わって ①屋根から雪が落ち難くなった ②屋根の色が褪せて見える ③表面に錆が見える ④塗装（塗膜）がはがれている、といったことに気づいたら屋根の塗り替え時期かもしれません。前回の屋根塗装がいつだったか確かめてみて下さい。塗装剤の耐久性でも変わりますが、一般的にはトタン（亜鉛メッキ）であれば5～8年、ガルバニウム（亜鉛、アルミ、ケイ素を含むメッキ）なら10～15年で再塗装が望ましいと言われています。



## 【心構え】

### 《注意力》

軒下を歩かない、雪の端っこを歩かない。  
歩道が雪で埋もれ車道を歩くことも多く、夜間は運転手が気付きやすい服装や反射板を付けましょう。



### 《厳しい環境ゆえにお互いに助け合って生きている》



田舎に来たからといって、自分の好きなように暮らせるかというところではありません。やはり人付き合いは大切です。田舎に来たから、私は私の生活をする、閉じこもって好きにできるのだと思い込むと、地域に溶け込めずに孤立してしまいます。集落の行事や、普請（地域の共同作業）には参加しないと、ここに来た本当の意味、価値が分からなくなってしまいますね。

地域とのコミュニケーションを取ることの大切さは都会よりも大切なことになると思います。特に百姓をするとなれば、困ったときにお互いに助け合う「結」が残っているので、助けることもあれば、助けてもらうこともあります。

\* 「只見移住物語」から一部抜粋

### 《体を動かす》



家の中でもラジオ体操や筋力トレーニング  
晴れた日は積極的に外に出て、歩く！  
歩く時は雪で道幅が狭くなっているところもあるので注意して下さい。



### ・かた雪わたり



雪質の変化を利用した雪国ならではの「かた雪わたり」という遊びがあります。冬の峠を越え、春の気配を少し感じるころ、緩み始めていた雪が、夜間の急激な気温低下で表面がカチカチに凍ることがあります。すると見渡す限り雪原全面が固く凍ります。

普段は行けないところでも歩いてゆくことができるようになります。冬の間 狭い空間に閉じ込められストレスを感じていた体に、好きなところへ歩いて行ける解放感と、体全体を動かす心地よさを与えてくれます。ただ陽が昇り温度が上がり始める 9 時近くになると「かた雪」は解け始めるので、雪国の冷え込んだ朝だけに出来る遊び方です。

### 《家族以外の人とも交流を持つ》

冬季講座やサークル活動がありますので、興味のあるものに積極的に参加してみましょう。



### 《冬を楽しめるもの=人生が楽しくなることをする》

スノーシュー、ゲーム、本、編み物、CD、DVD、種苗会社カタログ…楽しい事なら何でも。



### 《前向きなあきらめ》

あと少しで春になります。  
春になれば雪は解けるし温かくなりますよ。

## おわりに

只見町「冬の過ごし方」最後まで読んで頂き有難うございました。お役に立てたでしょうか？伝えるべきことをきちんと伝えられたか改めて自問自省致します。

もし困ったことがあったら「近所の方」に聞いてみて下さい。皆さん、自分の経験を丁寧に語り、親切に教えてくれるでしょう。やがて何回か冬を過ごし、あなたもそのような経験豊かな「近所の方」になります。その時は都市部から移り住み間もない移住者（かつてのあなたのような）にとって、あなたが「近所の方」になってもらえる事を心から願っています。



2021年3月 初版 作成

